



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒662-0977 西宮市神楽町5-23
西宮YMCA内
☎(0798)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2015年4月会報 第319号

主 題 ・ 標 語

- 国際会長(I P) Isaac Palathinkal (インド)
主 題: "Theme:Talk Less, Do More" 「言葉より行動を」
標 語: "Do it Now"
「今すぐやろう!」
- アジア地域会長(AP) 岡野 泰和 (日本)
主 題: "Start Future Now" 「未来を始めよう、今すぐに」
標 語: "One Asia, One World" 「ひとつのアジア、世界はひとつ」
- 西日本区理事(RD) 松本 武彦 (大阪西)
主 題: 「響き合い、ともに歩む」
"To walk together, echoing each other"
標 語: 「こころ豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでゆく」
- 六甲部長 多胡 葉子(宝塚)
主 題: 「わたしとあなたのY'SダムをYMCAと共に」
《ユース・交流・地域》
- 宝塚クラブ会長 杉谷 和代
主 題: 「Shareする喜びを感じよう、その輪を広げよう!」
"Let's feel the joy of sharing. Widen the circle of it"

今月のテーマ: YMCA サービス
ASF (アレキサンダー奨学資金)

柔和な人々は、幸いである、その人たちは地を受け継ぐ。
(マタイ5章5節)

2015年4月第一例会

日 時: 2015年4月8日(水)18:30
場 所: 宝塚ホテル ゴールドの間
会 費: 会員3,100円、会員外3,500円
ドライバー 多胡葉子 鯖尻佳子

開会点鐘 杉谷和代会長
ワイズソング 全 員
聖 書 福田肇
祈 禱 福田宏子

ゲスト・ビジター紹介
会長・委員会報告・YMCA 報告
会 食
プログラム

・「生きることの意味—幸せを感じて」

梓川 一 氏

関西学院大学人間福祉学部准教授

・YMCA リーダーによる
タイワークキャンプの報告

誕生日のお祝い

閉会点鐘 杉谷和代会長

2014/15 役 員	会 長 杉谷和代 直前会長 石田由美子 副会長 福田宏子、石田由美子 書記 若林成幸 会 計 吉田 明、堀江裕一 会計監査 今田 稔 六甲部部长 多胡葉子 メネット連絡 今田和子 連絡主事 谷川 尚
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 福田宏子 地域奉仕・環境 福田宏子 EMC 石田由美子 交 流 石田由美子 ファンド 三品ミチ子 広 報(ブリテン) 長尾 亘、(HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 加藤光信 市民クリスマス 若林成幸
お誕生日 おめでとう!	沢田 郁 (4月23日) 小嶋星子 (4月26日)
3 月 実 績	例会出席者数 27名 在籍会員数 23名 出席会員数 19名 出席率 82.6% メイクアップ(内数) 2名 メネット 2名 コメント・マゴメット0名、ゲスト・ビジター6名 BFポイント 3月 3,715円 累 計 30,355円 にこにこBOX 3月 13,000円 累 計 54,200円 神戸 YMCA 支援 33,200円

3月第1例会報告

「93才の新老人からいただいた元気」

3月11日(水) 18時30分から、宝塚ホテル、ゴールドの間にて3月第一例会が行われた。出席者は、メン17、メネット2、ゲスト6 計25人。

杉谷会長による開会点鐘と挨拶に続きワイズ



ソング斉唱、聖書・祈祷があり、会長報告が行われた。

報告の要旨は、アジア大会・西日本区大会への参加の呼びかけ、5月末開催のバザーへの協力要請などであった。食事の懇談の後、井筒八つ橋本舗会長、津田佐兵衛氏による講演と神戸Yタイ・ワークキャンプに参加する西宮Yユース・リーダー井内伸君の決意表明が行われた。

津田佐兵衛氏は93才のご高齢にも拘わらず、「とりあえず次の関所は百歳があたりまえ」という演題のもと、敬愛する日野原重明氏語録を中心に、ウイットに富んだ語り口で、長寿の秘訣、新老人といわれる老後の生き方など、示唆に富んだお話を楽しむことができた。話のポイントを次に。

・ 人はいくつまで生きられるか？ 細胞学的には120歳が限度といわれるが、ジャン・カルマン(122才)は世界歴代最高齢の記録を持つフランスの女性。木



村次郎右衛門(116才)は男性の長寿世界一だった。大川ミサヲさん(117才)は存命人物で日本最高齢、ギネス世界記録に認定されている世界最高齢の人物。

・ 平均寿命の推移 縄文時代14才、江戸時代20才、大正時代 男42・女43才、終戦直後、男50・女54才、現在 男83・女86才 長い年月を経て、人類は野生の世界ではありえない「老化」という時間を獲得した。

・ 寿命は何で決まる？ 生命の決定要因は、遺伝子・事故災害・生活習慣の3つ。生活習慣病を直すには、良い習慣を学び、それを生活化すること。適度な睡眠と腹八分目の励行は最も重要と。

・ 長生きするだけでは意味がない！ 「何か目標を持って活動している人の方が元気」「人はいくつになっても生き方を変えることができる」

・ 心身そろって美しく！ 豊かな心と親切心をもって人々に接し、謙虚な態度で好奇心を持ち続け、忍耐強く生き、心からの新老人になってほしい、と締めくくられた。

この後、西宮Yユースの井内伸君は、タイ・ワーク参加に際し、チェンマイYに集う日本・ラオス・ミャンマーの若者とともに、ワークを通じて国際協力の意義を体験したい、と抱負を語ってくれた。

次いで、お誕生祝いを行い、会長の点鐘で閉会となった。

若林 成幸

「会長報告」

厚手の冬コートが軽い明るい色の春コートに替わる、家の中も家具の模様替えになりまわりのすべてが春一色である。六甲部会第二回評議会が3月21日に開催され、六甲部の活動、各クラブの活動経過が報告された。いよいよY's活動はホームストレッチに差し掛かる。楽

しい例会になるよう毎月プログラムを考えていたのも段々少なくなり、ほっとする気持ち寂しい気持ちと複雑である。今月は希少難病患者のお話を梓川一氏 関西学院大学人間福祉学部准教授をお迎えし、もうひとつタイワークキャンプの報告、来月も素敵なゲストスピーカー長尾ひろみ氏が講演を快諾くださった。大変楽しみで多くの方に聴いていただきたい。そしてクラブとしての大きなイベントも残り一つ、5月30日のバザーである。計画は着々と進行中で例年通り準備にはいろんな方の手をお借りし、バザー会場が賑わうようになることを期待する。是非大勢の方とシェアする喜びを味わいましょう!

杉谷 和代

3 月第 2 例会報告

3月18日(水) 18時30分から宝塚西公民館に於いて3月第二例会を開催した。出席者は杉谷会長、多胡、福田(宏)石田、鯖尻、長尾、堀江、加藤、吉田の9名。議事要旨は次の通りです。

1. 4月例会運営について

ゲストスピーカーとして、関西学院大学人間福祉学部准教授・梓川一氏を迎え希少難病についての講演、及びYMCAリーダーによるタイワークキャンプ報告を予定。例会進行の時間配分を決める

2. 次期クラブ役員、各事業委員会の構成(案)

鯖尻次期会長の提案により検討を行い下記の通り決定した。

(役員・事業委員)

会 長	鯖尻佳子
副会長	福田宏子、杉田和代
書 記	若林成幸
会 計	吉田 明、堀江裕一
直前会長	杉谷和代
連絡主事	谷川 尚
会計監査	今田 稔
メネット連絡	福田素子、今田和子
Yサ・ユース	福田宏子(長)、武田寿子、桑田勝弥、青柳美知子
地域奉仕・環境	多胡葉子(長)、水谷恭子、井上 聖
EMC	長尾 亘(長)、杉谷和代
交流	石田由美子(長)、坂田昌鴻、沢田 郁
ファンド	武田寿子(長)、三品ミチ子、加藤光信、小嶋星子
六甲部メネット主査	福田素子
特別委員	前年度から留任

3. バザーの運営について

バザー役割について「役割分担表(案)」により検討、若干の修正を行った。また協賛企業の担当者についても見直しが必要となり加藤委員長により最終案を改めて作成する事とした。

4. 4月ブリテン編集について

長尾メンより原稿分担、編集日程等が示された。発送は3・31を予定、協力をよろしく。また英文ブリテンは5月発行を目指す。

5. 六甲部評議会(3・21・土)の件

当クラブ関係者の出席8名、議決権行使を杉谷、福田(宏)、長尾、加藤メンにお願いする。

6. 5月・6月のプログラムについて

5月例会のスピーカーとして長尾ひろみ氏に依頼する事とし杉谷会長が交渉に当たる。6月は事業報告例会とする。

7. その他

- (1) アジア大会参加申込については早期中期割引が3月末となっている。
加希望者はお急ぎ下さい。
- (2) 神戸 YMCA 総主事就任式(4月19日)の案内が来ている。会長扱いの出席希望者は現在のところ、3名。後は各自お申込下さい。
- (3) 神戸メネット50周年(3・14・土)に当クラブから数名が参加した素晴らしい会でした。感想をブリテンに記載して頂く。
- (4) 西日本区次次期理事候補、推薦期限3月21日・当クラブとしては候補者推薦者はナシ
- (5) 西日本区 CS 事業助成金、並に赤い羽根公募分配金の対象になった。東日本大震災復興支援「揚がれ希望の凧」とその関連イベント「きらりと輝くアート展」に関して報告書を多胡メンから西日本区、宝塚市社会福祉協議会の両団体に提出する。
- (6) 西宮クラブが進めている東日本支援プロジェクトへの協力については今後検討する。

吉田 明

2014-2015 六甲部 第2回評議会

2014～2015年度も9ヶ月が過ぎ中間報告をする第二回評議会が神戸栄光教会の2階の会議室で開催された。

宝塚クラブからは多胡部長、若林書記、堀江会計、長尾事務局長、杉谷会長、福田宏ワイズ、加藤ワイズ、谷川担当主事の8人が出席。

評議会に先立ち13:30～役員会が13人の出席で開催され評議会での件案等が確認された。

15:00～は出席者の確認、41人の出席のもと若林書記の司会で評議会が開催された。提出された資料を基に部長、会計、主査、各クラブ会長の中間報告がなされた。

今回の評議会では会計報告の中での地域活動支援金の使い方に関して部長提案を基に活発な意見が交わされた。また、今期に芦屋クラブの上野恭男ワイズを委員長として開催され、協議された六甲部部則検討委員会での報告に関する多くの尊い意見交換がなされた。

そして、次期部長からのユース支援に関する提案があり、同時に次期事業主査と次次期部長が推薦され全員一致で承認された。

最後に水野雄二総主事に六甲部から神戸 YMCA 新会館建築募金 100万円の目録を贈呈がなされ無事評議会は終了した。

私が知る限りではこれまでの評議会は報告事項や協議等に関しても殆ど議論が白熱化する事なくシャンシャンで議決されてきました。

今回は「久しぶりにみなさまのワイズメンズクラブへの厚い思いがひしひしと伝わる意義深い会になりました。」「参加した甲斐がありました」「六甲部の動きが解ってきました」等々の評価を得た評議会になったと思いました。

評議会の時間が延び、16:30～予定されていた講演会が一時間近く遅れて17:30～始まりま



した。スピーカーはこの3月で退任される水野総主事。「YMCAとワイズと私」と題して生まれた時からワイズにYMCAに関わりつづけたご自身の歩みをユーモアたっぷりに語られました。

第三部は場所が隣の県民会館の7階に移り、18:00～司会進行をさんだクラブの松本美那子ワイズのもと賑やかな楽しい交流のひとつが持たれ、あっという間に過ぎました。最後に部長の閉会挨拶で散会となりました。

多胡 葉子

第26回アジア地域大会・ 第4回マーシャル委員会に出席報告

2015年3月12日(木)、京都御所の東隣、「ガーデンパレス京都」で開催されたマーシャル委員会に出席しました。

今大会のマーシャル委員会は、久保田雅彦委員長(京都グローバル)始め合計7名の若手メンバーで、全員、マーシャル経験がない、との事で2010年横浜国際大会マーシャルの一員であり、今回も

マーシャルである私が実務や感想をお伝えするためにお声がかかりました。



京都大会のマーシャルは東西合わせて51名が決まりました。六甲部からは宝塚クラブ・福田宏子ワイズ、神戸ポートクラブ・大野勉ワイズ、そして森田紀子特別メネットのご姉妹、東京銀座クラブ・吉田絃子ワイズも一緒に楽しみが増えました。

横浜大会の写真を10数枚パワーポイントで紹介し苦労した点や検討事項など説明しました。

何よりも大切な事は、日本が誇る質の高い「おもてなし」の心を最大限感じて貰う、と言う事です。

森田美都子実行委員長から「スマートなマーシャルを心がけて欲しい」と言う大きな課題を出されました。

この会議の直前に大会基調講演の講演者が宇宙飛行士・毛利衛氏に決定したとの報告があり、大会の大きな付加価値が与えられた事を喜びました。これからユニフォーム、グループ作成、研修など取り組む事は山盛りです。京都らしい若いパワーと経験豊富な先輩方のコラボで1000人の参加者にとって感動的な大会としてフィナーレを迎える事を期待しています。宝塚クラブからも多くのメン・メネットの参加を目指しましょう！

石田由美子

きらりと輝くアート展

2013～14メネット国内事業として実施された障がい者アート展が各部で実施され多くの方々はその素晴らしいアートに感動を与えられ、障がいのある方々への励みにも繋がっていったことは関わったすべての者が脳裏に刻み込まれた事業だった。

3月11日は東日本大震災の4年目の追悼記念日にあたる。今年も宝塚ワイズは東日本大震災支援プロジェクトの「揚がれ！希望の凧」～宝塚から東日本へ～のプログラムを実施。そのプレイベントとして障がいのある方々に和凧の絵付けをしていただきアート展を開催した。展示場所が与えられ、短期間にも関わらず準備が整い、小規模ながらもアート展の開催を実施。宝塚市内からははんしん自立の家の入



居者の方々、さざんか福祉会、希望の家、アト
イズなど、神戸からカレッジ・アンコーラジ
ュ、芦屋からみどり福祉作業所、そして個人
の方々などその作品は 60 点が展示された。和
風の絵付け、絵画、陶芸、沙織織、モザイク、
ステンドグラス、ぬりえなどの作品の数々。

3月7日(土)～10日(火)までの4日間に
約 150 人の方々が観に来られ、また、公民館
のギャラリーだったので公民館に来られた方々
が開催場所を通りすがりに観られたことはと
てもよかった。

すべての作品はとても暖かいものを感じ
一つ一つに作品を作られた方々のドラマがあり、
その思いも共有する事ができるのはこのア
ート展ならではの感じた。

多胡 葉子

人は東日本の方々へ支援の思いを馳せました。
2時46分には鐘の合図で黙祷。

その後会場は、はんしん自立の家のロビーに
移り、東日本大震災の時の津波の状況を撮影し
た DVD を思い気持ちでみながらはんしん自立
の家のご好意で振る舞われた暖かい甘いお汁
粉を賞味しました。

アトラクションとして大阪泉北クラブの猪
瀬正雄ワイズによる切り絵の実況。参加者に
応えて華麗なはさみさばきで切り込みをいれ
うさぎ、パンダ、猫などの動物や名前などが次
々にできあがり、オハアした方々の手元に届
きました。そして、最期に東日本の被災者の方
々に寄り添う気持ちを込めて、花は咲くの歌に
合せ、石田ワイズ指導で稽古ができていた自
立の家の入居者の方々によるフラをおどり散
会しました。

今年はこの催しを神戸、産経、読売新聞の3
社が取材、翌日の阪神版に記事が載り宝塚
ワイズにとっては嬉しい広報でもありました。
また、今回は赤い羽共同募金からの助成を受
けたイベントでもあり、早々と報告書を社会
福祉協議会へは提出してきました。

東日本大震災支援プロジェクト
「揚がれ！希望の凧」～宝塚から東日本へ

このプロジェクトはYMCA、宝塚ワイズと武
庫川がっこうの共催、そして、はんしん自立
の家を始め市内の福祉施設のさざんか福祉会、
希望の家などのご協力で今年も約 150 人の参
加者の方々とともに3月11日に実施できまし
た。

4回目を迎える東日本の大震災追悼日に宝
塚から東日本の空へ復興の希望を託し、当
地の方々に寄り添う気持ちを載せて凧が大空
に舞いました。

前日から寒戻りの寒い日でしたが、2時
からはじまった凧揚げの時間帯は寒さが和ら
ぎ、むこにゃん広場では約 100 人の参加者
の方々と共に凧あげを実施。 私たちが揚げる
和凧は数機しかうまく空高くあがらなかったが、
毎年連凧や珍しい凧を持って参加して下さ
る日本凧の会のメンバーが揚げて下さった
凧は見事に大空に舞い上がりました。今年
の連凧は 60 機つらな天女。その凧をあおぎ
つつ一人一



多胡 葉子

メネット会と花組の「ひな祭り」

「灯りをつけましょう ぼんぼりに、お花を挿しましょう 桃の花…」幼少の頃、誰もが口ずさんだ童謡「ひな祭り」を耳にすると、多くの方が昔懐かしい甘い日々を思い浮かべられるのではと思います。

桜の蕾が膨らみ始めた3月25日、宝塚クラブ花組の

面々が、今田稔メン、和子メネット宅での「ひな祭り」の宴に招かれました。



床の間には

和子メネットの初節句の際に御祖母上様より恵贈された木目込みの珍しいお雛様が鎮座し、壁にはたち雛の軸が掛り、桃色のチュウリップがひととき華やかさを増しておりました。

そもそもこのお雛様は昭和6年、昭和天皇の即位式の記念として「萬歳雛」と称して制作され、雛壇の前方には、4舞人が舞う「神楽」の舞台が設けられており、この日本でも数が少ない貴重なお雛様とのことでした。

また、「皆具」（かいぐ）とよばれる、10セットの懐石膳には新春を代表とする春の食材がふんだんに取り込まれた可愛いごちそうの

数々が所狭しと並べられているのを目前にして、花組一同、思わず感嘆の声を年甲斐もなくあげてしまいました。



しばし、手の込んだお料理の数々に舌鼓を打ちつつ様々な話にも花が咲きました。

この貴重なお雛様は、幸運にも戦禍を免れ、阪神淡路大震災にも今田本家は震災に遭遇したものの別棟で保管されていたために、被害にも合わず、83年目のお披露目になりました。暗いニュースが横行する昨今、しばし心温まる、童心に帰り、ほっこりとした和やかな時を過ごすことができ、そして日本の素晴らしい伝統文化に触れることができた至福の時でした。

福田宏子

他クラブ訪問

「第22回 バレンタインコンサート」に参加して

多少寒さが和らいだ2月7日（土）、恒例三田ワイズメンズクラブの第22回バレンタインコンサートが三田市ウッデイタウン市民センターで開催された。

暦の上では春といえど、ほぼ毎年雪がちらつくこの時節なのに、今年は少し早い春の到来を感じさせた。

第1部は、カントリー、ブルグラス、フォークソングといったアメリカのケンタッキー州の発祥の地とするものが中心であることから、兵庫県多紀郡の「県多紀」をとって「ケンタッキー」と読み替え「多紀郡の幸せな男たち」として還暦を超えた三人の「県多紀ハッピーボーイズ」による昔懐かしいメロデー、「この広い野原いっぱい」「君を待っている」「浜辺の歌」の数々を披露された。

第2部は神戸出身のバリトン歌手、時田直也氏：生後半年で未熟児網膜症と診断され、生まれた時からズーと見るという経験を持たれ事がないにもかかわらず、幼い日にふっとしたきっかけで音楽と出合い、大阪音楽大学音楽学部

声学科を卒業され、「野に咲く花のように」[北風小僧の貫太郎]、冬の旅より「菩提樹」、詩人：金子みすずの詩「つもった雪」、

“Amazing Grace”等をご自身演奏のピアノの音色にのせて、披露され、目を閉じると様々な情景が浮かび、しばし現実を忘れた。

寒い土曜日の午後、ほっこりとした、心にほんのりと温かみを感じるコンサートでした。

福田 宏子

**第7回YMCA・コミュニカ学院
日本語スピーチコンテストに参加し**

3月4日(火)神戸市国際交流会館多目的ホールで行われました。

昨年に続いて2度目の参加になったが、今年も大勢の若い留学生で3階ホールは一杯であった。初級の部、中級の部、上級の部の3部門に分かれて総勢15名のスピーカーの出身国は韓国、台湾、中国、香港、ベトナム、シンガポール、パキスタン、モンゴル、インドネシアのアジア諸

国であった。私は上級の部から聴かせてもらったが、スピーチ



の構成も、プレゼンテーションも多少緊張気味の生徒もある中、全体的にのびのびと自分の意見をはっきりと述べていたことが印象的であった。特に主題が日本人の気がつかないことであったこと、日本語がとてもきれいだったことも印象に残った。最後の審査員の講評も生徒にとっては大変励みになるもので好感が持てた。留学生のスピーチコンテストを、日本の学生も聴く機会があればアジア諸国の若者との交流の良い機会になると感じた。きっと日本の文化

を見直すよい機会になると思う。六甲部ワイズ全クラブが後援し、来賓として宝塚クラブをご紹介いただき、私自身今年も参加させてもらって良かったと感じ爽快な気分で帰途に就いた。

杉谷 和代

【今月のみ言葉】

前回取り上げた悲しむ人々の幸いの言葉(マタイ5:4)の後には、「柔和な人々」の幸いについて語られています。この言葉も、これまでの幸いの言葉と同様、少々難解です。まず「柔和な」と訳されている言葉ですが、この言葉には二重の意味が含まれていると考えられています。一つには、神の前にへりくだり、神に従順であるという意で、その意味では、第一、第二至福の「心の貧しい」や「悲しむ」という表現とも重なってきます。それと共にこの言葉は、他人に対する怒りの感情を制御することができ、常に寛大な思いで他人と接することのできる姿勢を意味し、まさに、神に対して従順で他人に寛容である人こそが柔和な人であるわけです。

そして、柔和な人々は地を受け継ぐといわれます。「地を受け継ぐ」という表現は、旧約聖書では、イスラエルの民が神からカナンの土地を与えられる、その約束との関連でしばしば用いられていますが、王国滅亡後、彼らは様々な困難を経験する中で、目に見えるこの世の土地以上に大切な、真の神の祝福に目を向けるようになっていきます。そしてそれこそがメシアの到来、神の国の到来であり、それゆえ、「地を受け継ぐ」とは、神の国に入ることを意味しています。

その意味でも、この言葉は、神に従順な態度をとり、他人に寛容である人は、神の国に入ることになるがゆえに幸いだと語っており、私たちにもそのような「柔和な」生き方を求めようとしているのです。

嶺重 淑

YMCA だより



1. 水野雄二総主事退任

別れの季節の3月、いよいよ13年間神戸YMCAを牽引してきた水野総主事退任の時を迎えます。退任にいたり下記のメッセージを預かっています。

「私個人は37年の職員生活、13年の総主事の任務を3月末で終了いたしますが、至らない点が多く、ここにお詫びを申し上げますと共に、今までのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。YMCAの職務を終える寂しさと共に安堵も感じつつ、しばらくはゆっくりしたいと思っております。今後は顧問として、また一会員として神戸YMCAと共にありたいと願っております。本当に長い間、お世話になり、ありがとうございました。」4月からは井上新総主事のもと新たな歩みが始まります。4月19日には就任祝福式も行いますが、皆様のお支えのもと豊かな門出となるようお願いいたします。

2. 2015年度神戸YMCA年間聖句

3月は神戸YMCA次年度の方針・計画・予算などを審議し決議をいただく会議が行なわれました。その中で新年度の年間聖句はテサロニケの信徒への手紙 一 2章20節「実に、あなたがたこそ、わたしたちの誉れであり、喜びなのです。」が選ばれました。誰であれ、神の下では、すべての存在が誉れであり、喜ばれる存在であるということが強調されています。神戸YMCAのすべての会館、プログラムにおいて、シェアーいただきたい聖句です。

3. 神戸学園都市YMCA保育園献堂式、挙行

かねて学園都市の西神戸YMCA会館において工事が続けられていました新しいこども園が完成し、去る3月21日(土)に西神美賀多台教会の丹羽和子先生司式により献館式が開

催され、3法人の職員を中心に多くの人が集い、スタートを切りました。この保育園は分園を含めて学園都市地区で4番目の社会福祉法人の施設となりますが、土地建物は公益財団法人の所有のものを使って保育園を始めるというもので、ウェルネスセンター学園都市及び西神戸ブランチの活動スペースを縮小しながら、効率的に会館を活用し、保育園としては十分なスペースを確保できて開園に至りました。工事は難工事騒音、振動など会員、職員の皆さんには多大な迷惑と不快感を与えました。今後は子どもたちの歓声や泣き声が響く会館になると思いますが、YMCAとしての地域へのサービスの拡大を優先し、ご理解とご支援をお願いするものです。

4. 今後の予定

1) イースター早天礼拝

日 時：4月 5日(日) 午前7:00～
8:00

場 所：日本キリスト教団甲東教会

メッセージ：佐藤成美さん

(日本キリスト教団・甲子園教会牧師)

また神戸では神戸YWCAと合同で神戸東地(神戸市役所南側)で阪口 新さん(神戸聖愛教会伝道師)による早天祈祷礼拝が持たれます。

2) 総主事就任祝福式

井上真二総主事の就任式を下記のように執り行います。是非、ご出席くださり、新総主事の門出を祝し、激励くださいますようお願いいたします。

日 時：4月19日(日) 午後3:00～5:30

場 所：日本キリスト教団神戸栄光教会

3) 神戸YMCA創立記念日礼

創立129周年を迎える神戸YMCAですが、恒例の創立記念日礼拝を下記のように開催しますので、是非、ご出席ください。

日 時：5月8日(金) 午後6:30～8:30

場 所：日本基督教団神戸教会(中央区花隈)

説教者：菅根信彦牧師(神戸教会)

4) 2015 年度神戸キリスト教青年会 (神戸 YMCA) 定期総会

定期総会を下記のように開催します。例年と開催場所が異なりますので、ご注意いただき、新総主事の下での初めての総会となりますので、是非、ご出席ください。

日 時：5月29日（金）午後6：30～8：30
場 所：神戸市教育会館大ホール（兵庫県庁東北側、三宮駅・元町駅徒歩 10～15 分）

※ ※ ※ ※ ※

第 28 回チャリティーバザーについて

日 時 5月30日（土） 11時～14時
場 所 「カルチェヌーボ宝塚・逆瀬川」(旧アピア 3)

当日の役割分担表

全体責任者 加藤・谷川

売場名	責任者	催し名	担当者
食べ物 コーナー	石田	焼きそば他	青柳・若林・鯖尻・長尾 (聡)・森田・今田(和) 若林・YMCA リーダー会
蚤の市 コーナー	多胡		武田・長尾・福田(宏) 三品・桑田・小嶋・坂田 福田(素)・井上(み)
ステージ コーナー	谷川	アトラクシ ョン・抽選 会・景品渡 し	YMCA リーダー会
	福田(肇)	景品の分類 と保管	堀江
会場設定 コーナー	谷川	YMCA 旗 入口に看板	谷川 YMCA リーダー会
会計	吉田	抽選券販売	今田
写真			長尾

※ 4 月第二例会で、準備日（28 日・29 日）の当番（AM:PM の部）を決めます。

協賛商品及び蚤の市商品集めの努力よろしくお願いします。(加藤)

ゲストプロフィール

- 梓川 一 氏（あずさがわ はじめ）
- ・大阪市立大学、大学院卒。
 - ・関西学院大学人間福祉学部准教授。
 - ・松下電器産業（株）海外本部、
 - ・千里金蘭大学准教授を経て
2012 年 4 月から現職。
 - ・著書：『難病者の心から今日の人権と
社会を思う』
『ノーマライゼーション研究
1998 年度版』など多数。